



めいしょう 203号

だより



マグロ解体ショーがありました♪

in向島明生苑

春風が心地よい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。慣れ親しんだ『平成』の時代がいよいよ幕をおろそうとしています。皆様にとって、平成はどのような時代でしたか？様々な出来事を出しながら、平成最後の一か月を過ごしましょう。

新元号が発表されました

今日日、新しい元号が発表され、来月からはいよいよ令和(れいわ)元年となります。日本最古の歌集「万葉集」巻5、梅花の歌32首の序文にある「初春の令月にして、気淑(よ)く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披(ひら)き、蘭は珮後(はいご)の香を薫らす」から二文字をとって命名されました。

『令』という漢字を見ると、命令なんて言葉を真っ先に思い浮かんでしまいがちですが、実は『立派な、清らかで美しい、おめでたい、喜ばしい』などという意味があります。

令和には『人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように。』という思いが込められているそうです。また、和の字が元号に使われたのは今回で20回目となりますが、令の字は候補に挙がったことはあるものの、使用するのは今回が初めてです。そして、万葉集からの引用ということで中国ではなく日本の古典から採用されたのも初めてとなります。

令和はどのような歴史を刻むのでしょうか。とっても楽しみです。



とっても盛り上がりました♪

ソメイヨシノの代打が登場!?

日本で一番多いとされるソメイヨシノは、全てクローンだというのは有名な話ですが、クローンは病気にかかりやすく、他の種の桜に比べて寿命が短いことでも知られています。近年問題となってきた、ソメイヨシノの老木化や寿命。病に侵され、最終的に伐採されてしまうケースが増えてきました。そんな中、ソメイヨシノに代わる品種として、ジンダイアケボノという品種があります。ソメイヨシノが母親の為、見た目にさほど変わりはありませんし、テング巣病などの病気に強く、開花時期や花が咲いてから葉が出るといった特徴もソメイヨシノとほとんど変わりません。春の代名詞である桜を毎年当たり前のように鑑賞している我々ですが、大切な自然を守るためにも、ジンダイアケボノが活躍してくれるのではないのでしょうか♪

